

九月定例会

平成28年9月定例会は決算議会と言われ、全14議案の内、決算認定に関わる議案が10議案で、9月2日から9月21日までの20日間の会期で開催されました。

こ
ん
に
ち
は

し も す わ 町 議 会 で す

目次

行事アラカルト	2
議案審査	3
決算審査	4
議決結果	6
陳情・意見書・8月臨時会	7
一般質問	8
視察報告	14
議長のつづやき・議会と私	16

VOL.13 平成28年(2016)10月28日

編集／広報特別委員会 発行／下諏訪町議会

電話(0266)27-1111 FAX(0266)27-1237

<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1000100000096/index.html>



下諏訪の底力はこれだ!! (全国交流レガッタ優勝・諏訪湖艇友会)

行事アラカルト



諏訪湖お盆駅伝に出場



6市町村議員交流マレット大会



長和町との交流会にて新庁舎見学

▶ 下諏訪レガッタ



▶ 全国交流レガッタに参加



サマー・イルミネーションは華やかに



総合防災訓練 議会も情報伝達訓練を実施

移住定住事業を促進！

一歳までの新生児にB型肝炎ワクチン接種

総務経済常任委員会 付託議案審査

委員長 中村光良

議案第65号 平成28年度下諏訪町
一般会計補正予算(第3号)

総務課では、一般寄附金1万円を財政調整基金へ積み立て、まち・ひと・しごと創生有識者会議に係る地域再生計画の認定申請経費19万円、緊急的避難場所として、武藤工業敷地を借用できることに伴う門扉等緊急避難路整備工事費129万6000円、「防災行政ラジオ」250台分の購入費226万8000円、住民行政システム保守・庁内情報システム強化対策、個人情報保護条例改正支援業務の委託料1609万7000円。

税務課では、171万円をふるさとまちづくり基金へ積み立てる。

産業振興課では、商工業振興条例に基づく助成事業一件500万円交付に予算残額が不足となる300万円の補正。観光費20万円は寄附の趣旨に沿い、八島湿原の木道整備に充てる。この木道整備では、123万9000円が、一般財源から県補助金に財源振替される。移住定住促進費では、地方創生加速化交付金2870万円の内示を受け、需用費に



移住してお店を始めました

245万円、役務費に15万円、移住アクションプラン策定・移住交流事業・相談などの委託料に2400万円、建物借上料に180万円、備品購入費30万円。

討論では、①第二区の地区防災計画の促進が図られる。②防災行政ラジオの追加斡旋では多くの方に利用いただきたい。③地方創生加速化交付金の内示は非常にうれしい。町の宝を活かして、移住による人口増への取り組みとして期待する。などの賛成討論があり、挙手全員で可決。

生活文教常任委員会 付託議案審査

委員長 青木利子

議案第64号 下諏訪町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

改正点は、建築基準法の改正により、4階以上に保育室を設ける場合に設置する屋内階段の排煙設備の構造要件の変更。また、小規模保育事業A型およびB型を行う事業所では、保育士の確保が困難な状況であることから、保健師又は看護師に加え、准看護師も保育士とみなすことができるよう改めるもの。

討論では、これを機に、未満児保育施設の整備が進み、女性が働き続けられるような環境整備を推進してほしい等の賛成討論があり、挙手全員で可決。議案第65号 平成28年度下諏訪町

一般会計補正予算(第3号)

教育子ども課の、保育所費6万5000円は、年中・年少の保育園児を対象とする視力検査を実施するため。

住民環境課では、湖周行政事務組合のインフレスライド条項運用決定に伴う負担金93万1000円。健康福祉課では、認知症型通所介護事業所「みんなの家紙風船星が丘」のスプリンクラー設置に対し、国庫補助の内示を受け、補助金として350万円交付するもの。予防費166万6000円は、予防接種法施行令の改正により、28年4月以降出生の生後1歳に至るまでの者に対する、B型肝炎ワクチン接種にかかる経費。討論では、①視力検査の補正は、議員からの提案を受けたもの。②B型肝炎の予防接種には、細やかな注意を払うようお願いする。などの賛成討論があり、挙手全員で可決。



元気な子どもたち

議案第66号 平成28年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額606万円の内訳は、後期高齢者支援金の増額分17万4000円および、前期高齢者納付金の増額分5万9000円。償還金利子及び割引料の582万7000円は国庫支出金精算返納金。

討論なく、挙手全員で可決。

決算審査特別委員会で審査・認定

委員会により審査しました。

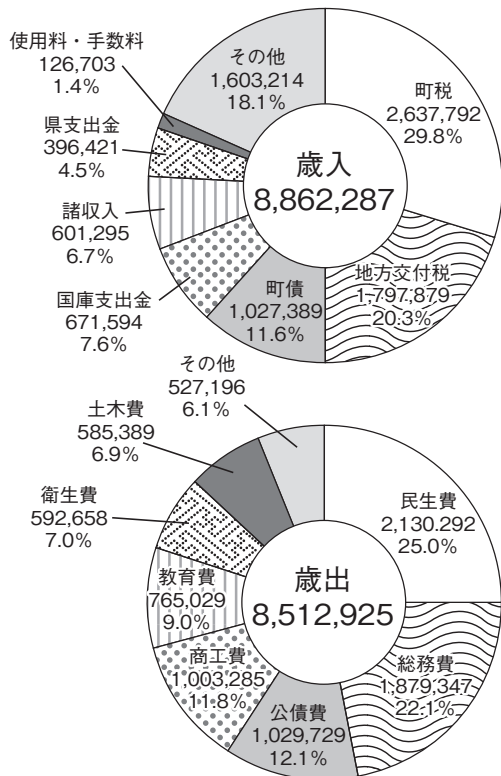
決算審査特別委員会」は田嶋◎・藤森○・河西・中村(直)・林・宮坂議員で構成しました。

一般会計決算審査特別委員会報告

委員長 森 安夫

当委員会で審議した一般会計決算について、各課の審査内容の一部を報告します。

● 一般会計 (単位：千円)



住民環境課 塵芥処理費では、不用額が2400万円となったが、岡谷市からのごみ受け入れによる相乗効果に加えて、町民のごみに対する分別意識の高まり、ごみの減量化が図られたため。し尿処理量は、昭和56年の5万4995キロリットルがピークで、平成27年には3223キロリットルに減少しているものの、下水道普及率が高い割に処理量が多いのは、観光客の多い八島湿原のし尿が多いことや雨水の流入が考えられる。

健康福祉課 福祉タクシーは、申請者は増えているが額は微増。通所介護予防事業では、転倒予防、栄養改善教室など。2次予防の訪問型介護事業では専門職が居宅を訪問しての生活指導など、多くの事業を実施した。健康づくり推進事業では、健康スポーツゾーンを活用した健康教室など、健康増進効果が期待される。

税務課 町税調定額は27億5700万円、前年対比4800万円の減額となった。不納欠損額900万円、収入済額は26億3800万円、収入未済額1億1000万円。収納率96・8%。諏訪圏域6市町村中、町の収納率は5番目。

教育こども課 保育料は過年度分も含め、未納額約600万円、17人の保護者がいる。すべての世帯が生活困窮者ではない。博物館のロビーコンサートは見直しを行い、博物館の本来の活動に基づく活動に限定した。図書館の一人当たりの本の貸出数のランキングは、県内第4位。

総務課 財政調整基金は、平成27年度末で378万円の増で10億1000万円。公共施設整備基金積立における出納整理期間末現在高は、5億6000万円。

産業振興課 観光宣伝費では、外国人観光客をターゲットにして、地方創生先行型交付金広域連携分が活用された。平成27年度町内宿泊の外国人は666人で26年に比べ4・5倍に増えた。ものづくり支援センターは、今年で5年目となる。今後どんな効果が出ているのかを積極的に開示していく。

建設水道課 道路維持補修、赤砂崎公園整備では多目的グラウンド整備・管理棟建設など。街並み環境整備事業では町道春社大門通り線などの道路美装化・大社通り歩道足下灯等設置・旧小林家土蔵復元改修などの工事が実施された。道路維持補修工事では、区から要望のあるもので修繕が必要なものはまだ残っているので、引き続き整備継続する。

消防課 常備消防費は27年4月から広域消防に一元化された。非常備消防費では、消防団無線機の携帯型21台を副分団長以上に、車載用8台をポンプ車に設置した。

討論では 大型予算となったが、単年度収支553万円の黒字になり、下諏訪町は健全財政。また、繰上償還や公共施設整備基金への積立てなどがなされた。税収が予測しにくい中で、不納欠損、収入未済の数字が改善され、さらに国や県の交付金・補助金を積極的に導入し、90億5593万円の予算現額に対し88億6000万円の収入済額を達成した。歳出は4億5000万円の不用額となったが、85億円の支出済額でほぼ計画通り事業が実施され、3億5000万円を繰越した。

消費税が8%になって以降、子育て、教育、福祉等身近な行政サービスに大きな期待を持っている。平成28年度も引き続き町民サイドに寄り添った施策の展開を強化することを期待する。

などの賛成討論があり、採決の結果、挙手全員で認定された。

平成27年度 一般会計 特別会計 決算を

9月定例会では、前年度の決算を審査・認定するため「一般会計」「特別会計」それぞれを特別「一般会計決算審査特別委員会」は、森◎・金井○・青木・小池・中村(光)の各議員。「特別会計(◎は委員長、○は副委員長 中村議長、津金監査委員はオブザーバー)

特別会計決算審査特別委員会報告

委員長 田嶋 彰

● 特別会計

会計名	年度	歳入	歳出
国民健康保険	27	26億1,997万円	25億8,231万円
	26	22億9,711万円	22億5,136万円
駐車場業	27	966万円	729万円
	26	1,013万円	698万円
後期高齢者医療	27	3億1,372万円	3億1,321万円
	26	3億1,206万円	3億1,125万円
交通災害共済事業	27	1,623万円	684万円
	26	1,432万円	543万円
温泉事業	27	4億4,231万円	4億316万円
	26	3億8,074万円	3億7,442万円
特別養護老人ホーム事業	27	2億1,928万円	2億1,928万円
	26	2億3,616万円	2億3,616万円
東山田区財産	27	266万円	148万円
	26	272万円	143万円

当委員会で審議した特別会計決算についての審査内容の一部を報告します。なお、すべての特別決算は、挙手全員で認定されました。

国民健康保険特別会計 国民健康保険税全体の収納率は、85%で前年に比べ0.4%下回った。期末基金残高は1332万円で前年度とほぼ同額。単年度収支は800万円の赤字。当町の特徴として、他市町村と比較すると、入院費が低く、入院費が高いということで、悪くなってから病院へ行く人が多い傾向がみられる。

討論では、特定健診の受診率の向上が重要等の賛成討論があった。**後期高齢者医療特別会計** 保険料の収納率は98.9%。医療給付対象人員は、高齢化に伴い、前年より45人増えて3902人となっています。

討論では、収入未済が減少し、対策の努力が見られる。後期高齢者の一番身近な窓口として、細部までの配慮を引き続きお願いするなどの賛成討論がされた。

交通災害共済事業特別会計 会員数は1万4661人で、加入総口数は1万8279口。前年度に比べ1404人、1324口の減となっており、減少傾向が続いている。個人情報保護により手続きが煩雑になったことなどが要因。

討論では、共済費収入の減少は事業継続に重大な影響があり、会員の増加が求められる。町民共助の良い事業なので、引き続き健全運営をしてほしい、との賛成意見があった。

温泉事業特別会計 主な歳出では、高浜運動公園における補湯用の新源湯掘削工事費で、8030万円の支出があり、5146万円を平成28年度への繰越明許費とした。収入未済対策として、4件の配湯を停止した。

討論では、温泉管理は、設備の老朽化や不測の事態もあり大変な事業。一般会計への返済が無事終了できるように、加入口数の増加にも努力していただくことを要望するなどの賛成討論があった。

特別養護老人ホーム事業特別会計 歳入全体の95.2%をサービス収入が占めており、基金からは、565万円の繰り入れ。経費削減の努力はしているが、施設の老朽化、介護報酬のマイナス改定や人件費などの経常経費も大きく、厳しい運営状況。

討論では、県内唯一の公営施設であり、30年近く経過し、設備の面では利用者に不便を掛けている。引き続き簡素化・効率化に努め、利用者の支援に努めてほしいなどの賛成討論があった。

水道事業会計 565万円の損失が生じており、積立金からの取り崩しで補填している。人口減少や節水器具の普及もあり、料金収入は減少傾向が続く。策定しているアセットマネジメントを踏まえて、健全財政に努めたいとの説明。

討論では、漏水を含めた施設の維持管理や、収納率の向上など、課題はあるが、経費削減に努めてほしいなどの賛成討論があった。

下水道事業会計 下水道整備済人口は、2万813人で前年度に比べ265人減少し、下水道普及率は99.9%。下水道接続人口は2万137人で接続率は96.8%。施設の効率性の数値が、全国平均や類似団体平均と比較して低いことについては、接続部からの流入やマンホールからの雨水流入など、不明水が原因と思われる。未収金では、大口の滞納者は事業所に多くみられる。

討論では、経費は年々増加し、継続的な健全経営が求められるなかで、経営戦略の基本計画を策定しており、大いに期待する。今後も低料金で利用できるような経営努力を期待するなどの意見が出された。

一目でわかる議決結果 8月臨時会

議決結果

議案第60号	教育長の任命について	同意(全員)
議案第61号	教育委員会委員の任命について	同意(全員)
議案第62号	下諏訪町特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第63号	平成28年度下諏訪町一般会計補正予算(第2号)	可決(全員)

一目でわかる議決結果 9月定例会

議決結果

議案第64号	下諏訪町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第65号	平成28年度下諏訪町一般会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第66号	平成28年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第67号	平成28年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第68号	平成27年度下諏訪町一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第69号	平成27年度下諏訪町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第70号	平成27年度下諏訪町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第71号	平成27年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第72号	平成27年度下諏訪町交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第73号	平成27年度下諏訪町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第74号	平成27年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第75号	平成27年度下諏訪町東山田財産区会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第76号	平成27年度下諏訪町水道事業会計決算の認定を求めることについて	認定(全員)
議案第77号	平成27年度下諏訪町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定(全員)

陳情審査結果

平成28年陳情第7号	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情	第1項；採択(全員) 第2項；趣旨採択(全員)
------------	----------------------	----------------------------

意見書案議決結果

平成28年意見書案第5号	私立高校への公費助成に関する国への意見書	可決(全員)
平成28年意見書案第6号	私立高校への公費助成に関する県への意見書	可決(全員)

陳情、意見書の審議結果

陳情第7号

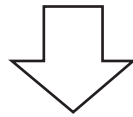
陳情者 中信地区私学助成推進協議会

私立高校に対する公費助成をお願いする陳情

私学は独自の建学の精神に基づき、個々の生徒の個性を育み、学習・文化活動、スポーツ、地域への貢献等に大きな成果を上げています。2014年度より「就学支援金」制度が改正され家庭の教育費負担は軽減されているものの、多くの保護者は公立との学費の差の大きさを実感しています。景気は若干上向き傾向とはいえなかなか実感が伴わないのが現実で、保護者の学費

負担は深刻な状況が未だ続いています。自助努力だけでは対応しきれない保護者の経済負担への配慮と、助成制度導入の検討を求めるこの陳情は、毎年提出されているものです。

国・県に対し、就学支援金制度の拡充と私学助成の増額を求めてほしいという第1項は採択されましたが、保護者への直接補助を求める第2項は趣旨採択となりました(昨年と同様)。



意見書案第5号

私立高校への公費助成に関する国への意見書

意見書案第6号

私立高校への公費助成に関する県への意見書

陳情第7号第1項の採択を受け、生活文教常任委員会から提案されたもの。それぞれ国、県

に対し、就学支援金制度の拡充並びに私学助成の大幅増額補助を行うことを、求めるものです。

議会人事

中村直亮議員が

9月21日辞職

中村直亮議員の辞職に伴い欠員となった人事は、次のとおり決められました。

総務経済常任委員会
副委員長

藤森 スマエ議員

湖周行政事務組合

議会議員

林 元夫議員

中村直亮議員から、一身上の都合を理由に、9月21日をもって議員辞職したい旨の辞職願が議長に提出され、本議会最終日においてこれが許可されました。

8月臨時会

8月5日に開催された臨時会では、任期満了に伴い、新教育長に松崎泉さん、新教育委員に北原三千代さんを任命する人事案が提出され、全会一致でこれらに同意しました。

当町では、新教育長のもと「新教育委員会制度」へ本格移行するため、新教育長は、これまでの教育長と教育委員長両方の任務を担うこととなります。それに伴い教育長の報酬を月額5500円引き上げる条例改正と、一般会計補正予算も、可決されました。

子育て支援センター 線路下にも検討



青木利子 議員

新年度の 重点施策は

Q 来年度の施策は、重点的な施策では、新規事業として

A 一般住宅の耐震化を促進するための補助金の上乗せを検討中。以前から要望がある子育て支援センターを線路下にも作りたい。防災リハビリテーション作業所を年度内に取得し、雇用や移住促進に繋がる活用を検討する。

Q ふるさと納税制度の現状の説明を。

A 昨年度は209万円の寄附があり、返礼品で27万円かかった。住民の他市町村への寄附による控除は514万円あり、

全体では332万円の赤字となった。返礼品目当てに他市町村に寄附している人が多くいることも事実。町の商品を中心に発信することとはPRに繋がるから、収納係が積極的に魅力ある商品構成を検討している。

多様な 生活スタイルに

Q 視察してきた新潟県長岡市の長岡福祉協会「高齢者総合ケアセンターこぶし園(撰田屋)」は子どもも、高齢者も自由に出入りできる施設だが、そのような子どもの居場所を地域包括ケアシステムでは是非設置を。

A 今、社協で地域のつどいの場を開所整備中。ひとり暮らしの方、高齢者、子育て中の親子、地域で孤立しがちな人が気軽に立ち寄れ、さまざまな立場の人が

参画し、知恵を出し合い元気な地域を作り上げる場所になればと期待している。

Q 県では「官民協働による居場所づくり応援プラットホーム構築事業」もあるが。

A 県が計画中の企画は、町では既に子育てふれあいセンターとして先駆的にやっていると考える。

Q 施設でもない新たな在宅介護として、多様な生活スタイルやニーズに対応する場を。

A 社協が準備中の憩いの場(左写真)で実現したい。



友之町に開所する「にこっと」

町内企業の 現状と今後



河西 猛 議員

合併の考えは

Q 諏訪圏自治体の合併に対する町長の考えは。

A 合併協議頓挫後、それぞれの自治体が、自立のまちづくりに向けた努力をしている。経済界の要望を重く受け止めている。まずは民意をしっかりと判断することが大切。

町内企業の 現状と今後

Q 町内企業の現状と今後について。

A 機械金属加工工業が大半を占め、加工後の表面処理や熱処理などは町外に外注

して親会社へ納めている。ものづくり支援センターへ相談依頼のある図面や企業間マッチングでは、複合的な加工を必要とする案件が複数出てきており、町内企業が元請けとなり、諏訪圏域の企業と連携して受注につながった実績もある。

Q 日亜化学の製造部門の可能性は。

A 同社は諏訪圏域のものづくりの技術が高く評価している。当初は研究部門で半分だけ購入だったが、高木のエプソン跡地を全部買った。研究開発を進める中で、製造ラインも造っていかうという構想もあるようだ。大きな期待を持っている。

こども未来基金 の活用について

Q こども未来基金の

残高と、活用方法は。
A 残高は733万円の見込み。1年以上町内に居住し、保護者の収入が定める基準以下の家庭が対象。保証人は絶対条件ではなく、柔軟対応する。貧困対策への活用は、子どもが等しく教育を受ける権利を地域全体で支えることを理念に考える。

トイレの整備を

Q いずみ湖公園マレットゴルフ場のトイレを洋式化してほしい。

A 高齢者の利用も多く、洋式化に向け装置の対応を考える。改修工事は、閉園の時期を捉えての作業になる。



ここが聞きたい

施策を問う

住み慣れた地域に暮らせるように



宮坂 徹 議員

地域包括ケアシステムについて

Q 団塊の世代が75歳以上になるH37年を目途に、住み慣れた地域に最後まで暮らしていけるようにしよう、というこのシステムについて、下諏訪町の特性・特徴は。

A 下諏訪町は、駅を中心に居住地域がコンパクトにまとまっている。その中に福祉施設や各種サービス事業所や医療機関等がバランスよく立地し、各所に公衆浴場や湖畔の健康スポーツゾーンなどが点在している。一方で、人口減少による少子高齢化率は6市

町村で一番高く、今後介護者の担い手不足が予想される。しかし地域・自主ボランティアなど社会参加への認識の高い人が多い。

Q システムを構築していく中で重要なポイントとは。

A 高齢化率が高い一方、要介護・要支援認定を受けていない元気な高齢者が80%以上いることから、①退職後の方達が経験や技術を活かした活躍の場を設ける。②地域づくりを推進するため、区長会等の団体や公募の町民で生活体制整備推進協議会を立ち上げ、アンケート調査・高齢者の居場所作り等を行う。

③特に60代以上の方々が、5年後10年後に居心地の良い環境を、自分達の手でつくるといふ気持ちを持つことが必要。以上の3点と考

Q 医療との連携は。 介護連携推進協議会を立ち上げ、情報共有、

諏訪地域全体での入院マナーレジメントの検討を始めた。また、共立病院内に、入院前から退院後まで対応する地域連携相談センターが開設された。

Q 地域に周知するためのビジョン・キャッチフレーズはどうか。

A 今後の計画に向けてのアンケートなどから、町民にわかりやすい未来予想図を示せないか検討していきたい。



公約実現と課題

再出馬の思いは



小池忠弘 議員

Q 町長としての4年間の総括、24の公約達成度や残された課題は何か。

A 町独自でできない事業もあるが、公約はすべて着手し、点数をつけるなら88点くらい。

継続事業では、砥川改修、西大路交差点改良、赤砂崎右岸整備とエコタウン構想の実現、自主防災組織の確立、健康スポーツゾーン構想、子育て支援、産業支援、移住定住促進、防災ハビリティ跡地活用など。

Q 多選批判の声も聞く。4期目への出馬表明の狙いは。

A 多選批判は承知している。3期を一つの目標との考えで、ある程度の達成感はあるが、信頼関係を基に、もう一期担うことが町にとって良い方向だと、熟慮の上覚悟し決意した。

Q 少子高齢化のもと、子育てでは新たな支援センター設置を明らかにしたが、安心して住み続けられる高齢化施策は。

A 町内商店から「移動販売」の協力申し出がある。町の委託事業として、来年度から出来ればと考えている。あざみ号の見直しも行っていく。

Q 自立のまちづくりを進めている町の財政の動向と、見通しは。



残高だが、財政調整基金も10億円、公共施設整備基金も増やし予定の建設事業も実施できた。現在の起債は40%以上が国の交付税で充当されるため、実際の借金は60億円を割っている。今後は5億円を越える大型建設事業はないだろう。道路整備など町民要望には応え、福祉施策は継続性を考えながら予算化したい。

Q 来年3月で営業終了の山王閣の今後は。

A 土地を更地にし大社に返還は変わらず。次にやる人がいると聞いているが、中身は聞く段階にない。

山王閣の動向は

町財政の動向と見通しについて

町民に寄り添った 安心のまちづくりを



中村光良 議員

道路・側溝補修 各区要望と対応

Q 私は議員活動の柱のひとつに、町民が毎日使う生活道路の整備を唱えている。今年度の各区の要望件数と対応の可否はどうか。

A 8月末までに32件あった。道路補修が16件、側溝補修が8件、国・県管理分が8件。全てにおいて現地を確認し各区長に対応を報告した。

穴埋めなど12件は職員が即時実施。業者発注が必要な12件は年度内に発注して対応可能。国・県が管理する8件は、それぞれ担当部署に要望を挙げて対応を

お願いしている。

Q 各区からの要望で次年度に先送りしなければならぬものはあったか。

A H27年度要望のうちH28年度で対応するとしたものは道路舗装補修1件、法面補修1件。道路舗装はすでに補修工事を行い、法面は秋の実施に向けて業者に発注済である。

園児の視力検査 内容説明を

Q 3月一般質問でお願いした保育園児の視力検査を、早速取り入れて頂いた。経緯の説明を。

A 専門医に相談して園児に最適な方法を選択した。備品ランドルト環単独指標を購入し保育士に対し視能訓練士の指導をお願いする。年少・年中児が対象。



総合防災訓練

災害避難時の 白タオル掲出は

Q 第一区が町の総合防災訓練に合わせて、「救助不要」を示す白タオルを家の前に掲出する試みをしたが、どう評価しているか。

A 937世帯中786世帯、約84%が意思表示を行い、安全確認が出来た。初回としては徹底が行き届いた訓練だったと報告を受けている。自主防災組織として、地域住民を巻き込んだ素晴らしい発想だったと評価している。今後、区長会などを通じて紹介し参考にしてもらおう。

町民ニーズに 施策実現を求めて



金井敬子 議員

未満児保育 定員増やすべき

Q 未満児の保育ニーズが増加傾向。定員80人だが、年度途中に発生している「待機者」15人を、どう考えるか。

A 未満児は定員一杯だが、3歳児は減少傾向。3園全体で500人の定員でやっていけるか、様子を見たい。

Q 保育ニーズに応えるためには、旧保育園舎を活用すべき。

A 未満児対応だけでなく、園舎を増やすことはできない。旧第8保育園は、消防音楽隊の倉庫として利用中で、今後旧第1保育園には公民

介護サービス 問題なく提供

館として使用したい地元要望があり、今後調整する。

Q まさに「改悪」と呼ばざるを得ない昨年4月の介護保険制度改正の、地域への影響をどう把握しているか。

A 制度改正内容については周知を心がけ、概ね理解を得ている。特に困難事例は生じていない。

Q 来年度から開始される「地域支援事業」は、現行の訪問介護や通所介護の約70%に相当する介護報酬での訪問型および通所型の「サービスA」に置き換えられる方向だが、介護サービス量の低下が心配。

A 町内事業所は、「訪問型」へ56%、「通所型」へ64%が参入意向。現

行サービスもゼロにはならないので、サービスは維持できる見込み。



他自治体にみられる「自動交付機」

休日証明書発行 来年度実施か

Q 各種証明書の自動交付機設置や、コンビニ交付サービスの導入の可能性は。

A コンビニ交付が今後の主流になってくるが、前提になるマイナンバーカードの普及が1割程度の当町では、当面の導入は困難。

Q 休日窓口での各種証明書の発行はどうか。

A 来年度からの、月2回ほどの休日発行体制を検討中。

一般質問 **町長!!**

限られた資源の活用について



中村直亮 議員

コンパクトシティの形成について

Q 高度成長期に宅地分譲された星が丘、町屋敷の人口と高齢化率の推移は。
A 2005年と2015年の比較で町の総人口は2万2967人が2万944人で8・36%減、星が丘は873人から687人で21・31%減、町屋敷は501人から429人で14・37%減。高齢化率は町全体で26・66%が35・26%、星が丘は26・35%が44・10%、町屋敷は22・14%が51・49%。
Q 友之町駐車を中心とするエリアを、高齢者を対象の中心とし

た集合住宅と創業時のインキュベーターとしての複合的に組み合わせた町の特別区としてクラウドファンディング等を活用し再開発は出来ないか。また、急激な人口減少・高齢化が進む上記2地区の高齢者を中心に、この特別区へ移住していただき、空いた土地の有効活用を検討出来ないか。
A 現時点では非常に難しい。町が推進するまち歩きやレンタサイクルの拠点であり、周辺商店にも活用されていることから、現機能の充実と活用を図りたい。
Q 過去12年の人口減少率、高齢化率、製造品出荷額、商業販売額、観光消費額の下諏訪町ならびに近隣自治体、県の数値の推移は。
A 以下のとおり。

	下諏訪町	岡谷市	諏訪市	茅野市	富士見町	原 村	長野県	比較年
人口減少率	△12.32%	△10.01%	△8.04%	△1.87%	△4.85%	△0.79%	△5.62%	H16年とH27年
高齢化率	+10.5%	+9.8%	+8.8%	+9.5%	+7.3%	+8.3%	+7.4%	H16年とH28年
製造品出荷額	△46%	△23%	△35%	△25%	△60%	△4%	△11%	H16年とH26年
商業販売額	△22.37%	△18.72%	△23.57%	△13.44%	△15.58%	△9.83%	△17.62%	〃
観光消費額	△27.00%	+10.91%	△16.22%	△21.16%	△6.54%	△18.15%	△10.62%	H17年とH26年

町の「夏の風物詩」
ロコミで広がった夏



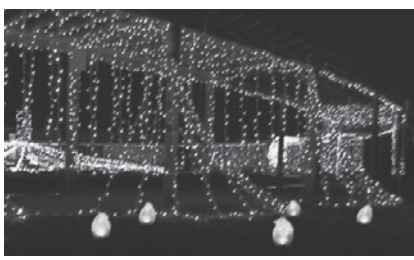
津金裕美 議員

幼保小中高連携を更に

Q 子ども達を健やかに育てる取り組みは。
A 当町の子ども達は、自分からあいさつできる子が多い。町全体で「あいさつ運動」が定着している証拠。また、地域の特性を活かし、木遣り、花笠踊り、長持ち等への参加による児童育成も進んでいる。
Q 課題は。
A 幼保・小・中・高校の連携を図ること。既に実践しているが、ひとつひとつの事例を大事にしていきたい。
Q 小学生の自転車運転に対する安全指導の現状は。

A 春・秋の2回、1・2年生には歩行教室、3年生以上には自転車教室にて、安全指導を徹底。
Q 自転車保有の小・中学生に、損害保険加入が必要では。それに対する町の補助を。
A 学校では、4割を保護者負担して頂き、災害共済制度に加入している。安全指導と損害保険加入を促進すべきと思うが、加入を強制することはできない。自転車保有がどれ位なのか把握した上でないと、補助には言及できない。

Q 今後は。
A 今年8万球まで増やしたが、当面20万球を目指し、毎年何かしらの工夫をしたい。「LEDとオルゴールのまち」を売り出していきたい。
Q 子育てふれあいセンターの、線路下への開設の時期は。
A 現存施設の改修により、来年度中の開設を目指し、ある企業と折衝中。



賑わったサマー・イルミネーション

ならないほど多くの方に来場いただき、好評だった。ナイトクルージングにも加わり、246人が乗船した。町民のロコミで、評判が広がった。

町体育施設の 改修充実を



森 安夫 議員

Q 東京五輪のホストタウン誘致合戦が始まった。下諏訪はポータルで、すでにコンタクトが取れている国はあるのか。

A 現時点で、ない。誘致はかなり難しい課題だが、夢を持って取り組みたい。

Q 下諏訪町の施設は、他の立候補地に比べ決して勝ってはいない。確実に誘致するためには、付帯設備も含めしっかりとした施設が必要だ。五輪終了後も漕艇だけでなく、多くのアスリートや町民が誇りをもって利用できるようなものを作るべき。

A 五輪の合宿誘致だけでなく今後ポータル

盛んにしていくうえで必要な施設。施設を高めることが招致につながる。県営の艇庫も含め、県の協力も得たい。

Q 総合運動場周辺の施設は老朽化している。当町での合宿者数が減少し、増えない事の明白な要因の一つ。

これらの施設の機能を見直し、利用者、選手がもっと活用しやすい施設に改修すべき。

A S53年のやまびこ国体に作られたものも多く、備品も含め今年度から計画的に整備改修していく。管理棟に



総合運動場周辺

ついても改築し、トイレやシャワールームを設けるなど利便性を高めたい。

地方創生交付金の有効な活用を

Q 安倍政権の政策の柱に「地方創生」があるが、すでに当町も1億円を超える交付を受けた。その効果は。

A プレミアム商品券などは町内消費に活用されるなど、多くの事業で成果が出た。

Q 今議会補正の地方創生加速化交付金の地域活性化移住定住促進事業2870万円は、正に将来の活性化につながる事業にすべき。そのためにはH28年度予算であるが、H29年度以降予算措置をどうするか腹を決めて取り組まないかと折角の2870万円は泡となる。

A H28年度の方向付けにより見極め成果の出そうなものは継続する。

民公協働による 事業評価が必要



林 元夫 議員

外部評価導入の進捗状況は

Q 事務事業評価における、外部評価の導入の進捗状況は。

A 当町の実情に精通した人に行政改革審議会のメンバーに加わってもらおう形から検討している。

Q 移住促進事業など各課連携の事業など事業の多様化が今後求められる、系統的な施策が必要になる。その事業に対する評価も、総合計画や総合戦略に基づき評価・改善されなければならぬ。

A 地方版総合戦略については、KPI(重要業績評価指標)を設

定し、多様に展開する個々の事業を、総括的、数値的に評価することになっている。

Q 数値化できない評価対象事業を専門家とともに、町民が参加した民公協働による事業の評価こそ必要だ。「町民に行政サービスの実態を知ってもらう」なども目指せる。

A 事業評価がマンネリ化しないように、当該年度の進捗状況も加味して、次年度施策を組立てている。

「よつや」に 駐車場を

Q 「おんばしら館よしさ」について、駐車場の整備や団体割引など、利用しやすい環境作りが必要と思うが。

A 施設周辺の土地状況から、駐車場の新たな整備は難しい。団体

予約が多く入っており、クーポンの発行などを検討している。

Q 埋蔵文化財センターの今後のビジョンは。

A 町歩きの拠点として整備し、宿場町の歴史的景観を生かし、時代の流れを体感できるエリアとしていく。

英語教育に自信

Q 青木町政のこれまでの施策の中で、教育行政はどのような視点で進めてきたか。

A 学校の先生には、子供たちが、地域の歴史や文化を大切に、下諏訪に誇りを持てるような教育をお願いしてきた。特に英語教育は、全国的にも先がけて実施してきた。



NLTによる授業

観光と産業資源の

諏訪湖異常について



藤森スマエ 議員

ワカサギ大量死 原因究明は

Q 諏訪湖のワカサギの大量死の原因究明は、できたのか。

A 7月26日湖底の貧酸素の塊が表層に上がってきたことで酸欠になったとの見方もあるが、原因究明には至っていない。

Q どの位のワカサギが死んだのか。ヒシの繁茂との関係は。

A 漁獲量は年間25トンと見込んでいるが生き残りは2割程度。ヒシは貧酸素化の要因の一つと考えられるが、今回への影響は分からない。

一般質問

お答えします!!

カサギ釣りへの影響は。
A 1年目のワカサギ確保ができるか、心配。ワカサギ釣りへの影響については、不明。

Q 漁協が国に要望した「サイホンの原理」方法についての県の見解は。今回の異常についての町の見解は。

A 県に徹底した原因究明を求めている。原因が解れば、対応策も見えてくる。町としても、支援をしていく。



ワカサギが大量死した諏訪湖

新教育長の

力点分野は

Q 新教育長の抱負、力を入れていく教育分野は。

A 子どもの側に立ち、大切に育てたい。全てが大切な分野だが、小中学校の一貫した英語教育と総合的な学習を挙げたい。

Q 県の「特色教育支援」の活用は、どうか。
A 英語の授業で5年生への教員配置を挙げていく方向。

Q 中学生の広島研修報告を聞いた感想は。県内戦争遺跡見学の具体化は。

A 「私たちが伝えていかねば」等の彼らの想いに、感動した。戦争遺跡の見学は、具体化したり、実施済み。

Q お舟祭りの宵祭りが「町民まつり」ならば、町民こそって参加する踊りをする等、盛り上げてはどうか。

A しっかりPRして、参加の輪を広げたい。

介護保険の

今後の動向は



田嶋 彰 議員

居宅介護サービスの 利用状況は

Q 介護サービスを必要とする高齢者は増えているはずだが、民間の居宅介護サービス事業所の利用者数は伸び悩んでいるという。町の実態把握の状況は。

A 団塊の世代が前期高齢者となる年齢を迎え、9月1日現在、65歳以上が7484人おり、要介護等認定者は1436人になる。その内75歳以上は1286人で、前期高齢者が150人となる。町としては国の指導のもと介護予防の推進を進めてきた。H27年度は特に訪問系サービスの利

用者が減となっているが、高齢者が住み慣れた街で老後を過ごすには、今後もサービスの提供は必要であると考える。一方、介護を必要とする人が少なくなるといことは介護予防の推進が図られていると理解している。

介護保険等福祉サービスの相談件数は181件あり相談の中で一番多い割合を占めている。案件の増加に伴い相談に対応する人員を増やしているが、相談後の把握まで手が回らない状況。今後は業務効率を上げ、把握できる体制を作りたい。

今後の高齢者 福祉サービスは

Q 町として、今後の高齢者への福祉サービスをどのように提供していくか。

A H29年度より新たに総合事業が始まる。当面の間は現行の「訪問型サービス」「通所型サービス」「配食サービス」「見守りサービス」を実施していくことを考えている。引き続き諏訪広域連合及び構成市町村と連携しながら、実情に合った多様なサービスが創出されるような体制づくりを進めたい。



地域包括支援

センターの活動 状況は

Q 地域包括支援センターの活動状況は。

A 地域包括支援センターが取り扱った平成27年度の相談件数は全体で196件、その内

視察研修へ

総務経済常任委員会

7月12日～14日

氷見市
糸魚川市 など

公共施設の在り方を 先進地に学ぶ

総務経済常任委員会
副委員長 中村直亮



広々とした庁舎内

氷見市 体育館や市場を 公共施設に

まず、平成26年5月、氷見市鞆川の旧有磯高校の体育館等を改修整備した氷見市役所庁舎を視察。



体育館を利用した氷見市庁舎

旧市役所庁舎は、耐震性不足、津波の浸水想定域内にあること、庁舎機能の分散や駐車スペースの不足など、防災面とサービス面で喫緊の課題を抱えています。「耐震補強か、新築か」複数のシミュレーションを模索する中、「学校統合で使われなくなった高校の体育館を、新庁舎として再利用する」案が職員提案されました。公官庁としては全国初、広い空間を柱無しで使う画期的な案でした。この案を採択することで、防災

(耐震性クリア、津波浸水想定域外へ移転・市民サービス(十分な駐車スペース確保)・財政負担(新庁舎整備コストの圧縮)の3つの課題を同時に解決することができました。また、4回の新市庁舎デザイン・ワークショップ等を通じて住民の皆さんから寄せられた多くのつぶやきが、新庁舎の機能・デザインに具体化され、活かされました。

続いて、「ひみ漁業交流館 魚々座」を、視察。昨年4月にオープンし、グッドデザイン賞に選ばれた施設です。地域の物産を販売する市場が移転し、空いた建物が再利用されたものです。氷見の生活や漁業に関する生活用品や道具類が多く展示されています。これらは、建築に携わった大学教授のつながりで、大学生たちが地域住民宅を一軒一軒リヤカーを引いて回り、無料で提供いただいたものです。「もらいもの」だけで成り立った公共プロジェクト」の成果です。市の公共施設等最適化基本方針に基づき公共施設の運営は、とても勉強になりました。

糸魚川市 教育にも活かされる 「ジオパーク」

糸魚川ジオパークは、平成21年に洞爺湖有珠山、島原半島とともに国

内第1号の世界ジオパークネットワーク加盟ジオパークとして認定されました。「ジオサイト」と呼ばれる地質や文化・歴史を感じることができるところが、糸魚川市内には24あり、それらを巡ることで、日本列島の形成や糸魚川の文化・歴史を楽しく学ぶことができます。「まちぐるみ」の「まちおこし」の先進事例です。



館内展示に様々な工夫も

続いて、「フォッサマグナミュージアム」を訪問。ここは平成6年に開館した石の博物館ですが、昨年3月、展示内容を全面リニューアルしました。6エリアの常設展示は、糸魚川を代表する「ヒスイ」や、日本列島誕生の際できた大地の裂け目「フォッサマグナ」などをポイントに、地質の時代経過に沿って地球が育んできた自然環境や資源の恵みと、一方で人々の暮らしに脅威となる地震や火山、地滑りなどの自然災害について学べる内容です。学芸員が7名(うち4名がミュージアムに常駐)いて、教育面でも「ジオパーク」に力が入られています。

常任委員会毎に

生活文教常任委員会

7月27日～29日

佐渡市長
渡岡市



こぶし園「摂田屋」と施設長（左）

「地域まるごと施設」の考えに衝撃

生活文教常任委員会 副委員長 宮坂 徹

佐渡市 文化遺産・史跡遺産の 活用実践

佐渡市には400を越える国・県・市の指定文化財があります。それを担当するのは市長部局の世界遺産推進課。合併と同時にこの部署が設置され、金銀山遺跡の世界遺産登録運動に拍車がかかりました。また、歴史文化に対する関心も市全体に高揚。

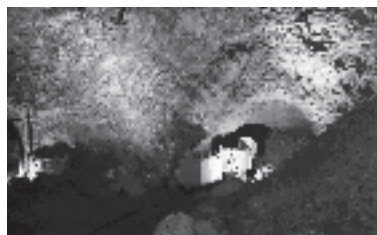
そして、平成20年度からこの400を越える文化財を中心に、各市町村まちまちな管理状態の整理と保存活用を図るために「歴史文化基本構想」の策定が始まり、4年をかけて構想が作られました。今年度の世界遺産の国内選定には漏れましたが引き続き選定に向けて取り組まれるとのこと。

金銀山の公開・運営は民間会社に委託されていますが、全体の管理は市が行い、観光協会と協力して活用。民公協働により策定された行動計画に沿って動いています。

世界遺産推進課と教育委員会が担当して、「ジオパークネットワーク」に参加してのジオパークの取り組みも行われています。市内には200

カ所程のポイントがありますが、このポイントを広げ、利用頻度を上げていきたいそう。

建造物・屋外の文化財管理が大変なこと。多国語表記のパンフレットや看板、旅館等のトイレの洋式化、メディア情報管理対応等が、今後の課題であること。世界遺産を中心に、金銀山・トキ等について小学校での学習を通じ、子ども達への文化継承に取り組んでいること等も、お聞きしました。



佐渡金銀山

翌日には、歴史伝説館、重要伝統的建造物群保存地区 宿根木、海運資料館、トキの森公園などを訪問し、前日にかがったお話を振り返りながら、佐渡の歴史文化を体感してまいりました。

長岡市

地域包括ケアシステムの

先進事例に学ぶ

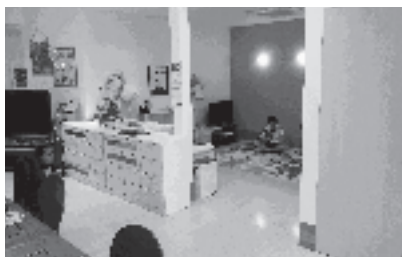
社会福祉法人「こぶし園」を訪問。

こぶし園は、昭和57年に設立され、特別養護老人ホームからスタート。その後、在宅サービス、ショートステイ、ホームヘルプサービス、24時

間在宅介護サービス、医療体制、訪問看護へと、幅広く事業を展開。

施設で暮らす方たちを地域に帰すことにこだわり、山の上の大規模な特別養護老人ホームから、市街地の小さな特養―サテライト型特養に入所者を分散させたそう。「地域が特養まち自体を介護施設にしたい。道路が廊下、自宅は居室と考えればいい」という言葉で表現された「地域を施設にする」発想は、今後ますます増える高齢者の在宅生活を支える理念になるだろうと、思われるものでした。

施設建設前に、地域住民への説明を繰り返す作業の間には、「介護施設が家の近くにできるのは困る」、「救急車がうるさい」、「騒音が煩くていやだ」との反対の声があったものの、祭りの折に神輿を置く場所に困った町に対し施設利用を提起したことを契機に、施設のイメージが変わったそう。



施設内にはキッズルームも

現在では、地元町内会と連携した行事や、地域交流スペース・カフェテラス・キッズルーム等の開設により自由な交流が行われ、地域に溶け込んでいる様子でした。

議長をつぶやき



議長 中村 奎司

諏訪の心は一つ

まだ感動の記憶が熱い御柱祭、その下社木落しで掲げられた垂れ幕に、諏訪の心は一つ。

八月におこなわれた下諏訪レガッタ、下諏訪住民ならずとも当町にかかわりのある人々集いてその数九十五クルー、過去最高でした。議会関係も岡谷市と長和町からの参加をいただ

き、来年こそ諏訪市議会の参加を得て湖周3市町議会の競漕を目論んでおります。

その中で特筆されるのが、諏訪6市町村の首長、議会議長、選出県議がそれぞれクルーを作り、エキシビジョンとして競漕した事。

首長からの挑戦を受け、ひくに引けずに出走を承諾してからが大変。議長クルーはボートに乗るのは初めてという人がほとんどで、漕艇協会の西村会長の指導を得て何とか真つすぐに進むようにな



議長会クルー

るまで練習4回。救いは片道1時間半の道のりを嫌がらずに来てくれたこと、終わった後面白かったもつと早くやればよかった、と言ってくれた事。競漕の結果は第2位、クルーが一つになるという思いの強い順になった？

そう、諏訪の心は一つ、心あればこそ。九月議会で中村直亮議員の辞職願が許可されたため、十一月の町長選挙と同じ日に議会議員の補欠選挙が行われることになりました。任期は平成三十一年四月までですが、下諏訪町を夢のある町、住んでみたい町にするために積極的に手を挙げていただきたい、そのように念じ、期待しております。

あなたの声をお聞かせ下さい 気軽にどうぞ 来年二月二十七日(金)議会報告会開催

議会と私



前教育長 小沢 貞義

丁寧な答弁を心がけて

「議会開会中、議場への入退場は、服装を整え一礼すること」着任後、最初に教えていただいたことです。

二期八年間、町教育長という重責を担わせていただき、年四回、計三十二回の議会定例会に参加させていただきました。毎回、各議員さんから教育に関するご質問ご提

言をたくさんいただきました。一般質問で通告される内容は、子どもや保護者、町民の皆様への教育に寄せる切なる声と受け止めて参りました。私は教育の方針や子ども等の様子をできるだけつぶさにお伝えしようと丁寧な答弁を心掛けて参りました。結果、答弁が長くなり、時に議員さん方にはご迷惑をかけてしまったのではと反省している次第です。

しかし、その都度いただいたご質問やご提言は私にとっては折々の教育の現状を見返し、新たな改革を進めていく上でどれも大変参考になるものであります。

入退場時、議場への一礼は己の襟を正し、町教育の在り様を見返し、初心をわが身に問う場であったように思います。

編集後記

「議会だより」を復刊してもう12回を数え、ちょうど3年となりました。表紙のレイアウトや紙面の割付などすべて手作りで始めたころを思い出します。議員による議会だよりとして、費用を抑え、読みやすい、読まれる議会だよりを作ろうと日々努力しています。しかし今でも本当に満足できるものはありません。『行く川の流れば絶えずしてまた元の水にあらず』

広報特別委員会

- 委員長 金井 敬子
- 副委員長 林 元夫
- 委員 宮坂 徹
- 委員 森 安夫

(元)